



特集展示

再発見！

秀吉の 大坂城

— 金箔瓦と家紋瓦 —



金箔龍面瓦
大阪市指定文化財
大阪市教育委員会蔵



金箔桐文方形飾瓦
大阪市指定文化財
大阪歴史博物館保管



金箔巴文軒丸瓦
大阪市教育委員会蔵



令和6年 3月6日 水
~ 5月6日 月・祝

火曜日休館 (ただし4月30日(火)は開館)

大坂城本丸の石垣
大阪市文化財協会提供



一般財団法人

大阪市文化財協会
Osaka City Cultural Properties Association



大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

第1章

秀吉政権の中核 一本丸と二ノ丸

豊臣秀吉が築造した大坂城は日本史上において画期的な意義を持つ存在であり、膨大な量の土木工事によって高石垣を廻らした初めての平城でした。秀吉とその家族が住まう本丸と、秀吉の手足となって政治の実務を担当する奉行衆と呼ばれる家臣たちの屋敷が建ち並んだ二ノ丸は、まさに秀吉政権の中核でした。



■ 大坂城本丸の石垣

写真提供：大阪市文化財協会



■ 大坂城本丸の金箔瓦

大阪市教育委員会蔵

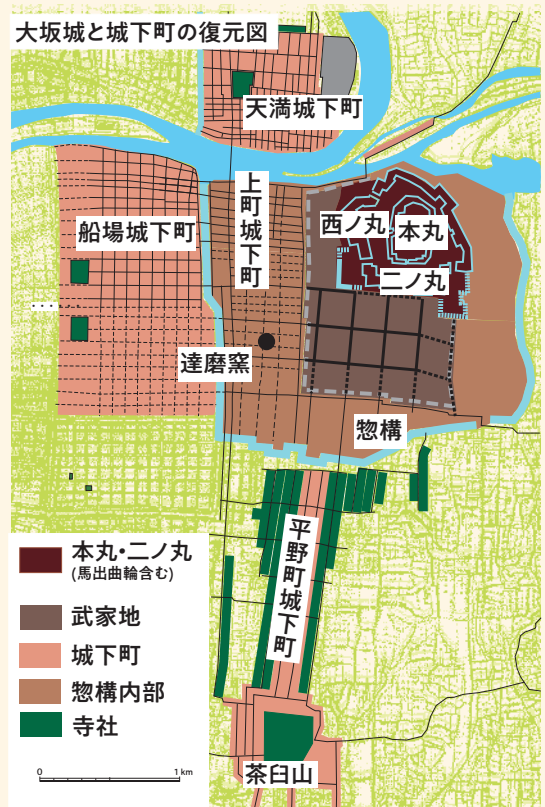
この瓦は、豊臣大坂城の石垣公開施設を開設するためにおこなった発掘調査で見つかりました。この調査では、いまからおよそ 40 年前に発見された秀吉築造の大坂城の石垣も再発掘されています。出土した瓦は、秀吉政権最初期の築城やその後の改修工事の様子を知る手掛かりとなります。



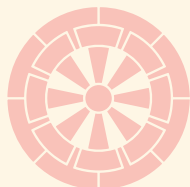
■ 大坂城西ノ丸の金箔桐文鳥衾瓦

大阪市教育委員会蔵

現在の西の丸庭園内の発掘調査で出土した瓦です。豊臣時代の西ノ丸といえば、秀吉の妻・ねねや、後には徳川家康が住んでいたことで知られています。西ノ丸の様子がほとんどわかっていないなかで、唯一知られている豊臣期の遺物として貴重です。



大坂城と城下町の復元図



第2章

大坂にいた大名と発掘された武家屋敷

大坂城の城内やその周辺には秀吉に従う武士たちの屋敷が建ち並びましたが、町人が住む町屋も混在していました。これは江戸時代以降の城下町とは異なっており、豊臣時代の^{きんぱくがわら}大坂の特徴と言えます。^{かちんがわら}金箔瓦や^{かちんがわら}家紋瓦は、そこに大名屋敷が存在したことを示唆する重要な物証です。とくに家紋瓦は屋敷の主人の名前を具体的に特定する手がかりを与えてくれます。



奈良時代に難波宮の大極殿が築かれた場所は、豊臣時代には大名屋敷がおかれていたようです。「山」の字の瓦は、通称「^{やまがたじの}山形殿」と呼ばれた東北の大名・^{もがみ よしあき}最上義光の屋敷を飾ったと思われ、本拠地の山形城でも出土しています。

■ ^{とりぶすまがわら}山文鳥舎瓦
大阪市教育委員会蔵



■ ^{もっこうもん}木瓜紋方形飾瓦
大阪市教育委員会蔵



■ 金箔菊文軒丸瓦
大阪市教育委員会蔵



■ ^{とめふたがわら}金箔留蓋瓦(亀か)
大阪市教育委員会蔵



大坂城南東にある森の宮遺跡の発掘調査で出土しました。金箔も含めてほぼ完全な形を保っています。方形の飾瓦は豊臣期の城郭で盛んに用いられ、4つの穴を釘で留めることにより、屋根の頂部(棟といひます)の側面を装飾したと考えられています。文様は「五七の桐文」であり、やはり豊臣期の城郭で盛んに用いられるものです。天皇から秀吉に下賜された文様とされています。

■ 金箔桐文方形飾瓦
大阪市指定文化財 大阪歴史博物館保管

今年(令和6年)は辰年です。龍は、雲を起こし雨を呼ぶ強い霊力を持つとされる想像上の生き物です。屋根の上の龍には、建物を火事から守る意味が込められていると思われます。目・鼻・口は赤漆で彩色され、その他の顔面には金箔が施されています。



■ ^{りゅうめん}金箔龍面瓦
大阪市指定文化財 大阪市教育委員会蔵



第3章

城下町の諸相

大坂城下町には、築城開始とほぼ同時につくられ始めた平野町城下町や上町城下町、少し遅れて開発される天満城下町、秀吉の死の直前に開発が始まる船場城下町の合計4つの町場が営まれました。大坂城下町は当時としてはまれに見る巨大な城下町であったのです。

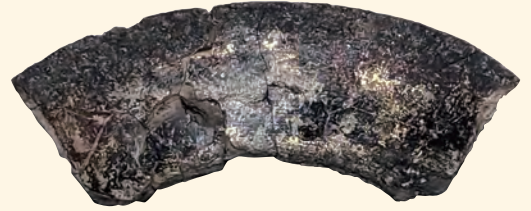


■天満城下町出土の金箔瓦 大阪市教育委員会蔵

終章

大坂の陣

慶長19年(1614)の大坂冬の陣で家康の本陣となったのが茶臼山(ちやうすやま)でした。発掘調査で見つかった家康本陣の遺構は、決戦に臨む家康の暮らしぶりを生々しく伝えていきます。



■金箔土師器皿

茶臼山出土 大阪市教育委員会蔵

付章

瓦を造る一達磨窯(だるまがま)の調査成果一

瓦は秀吉の城造りに欠かせないものでしたから、城のすぐ近くに窯を造って効率よく供給する必要がありました。発掘調査では、秀吉の大坂城に瓦を供給した達磨窯(だるまがま)が見つっています。窯のそばから出土した木製の瓦範(がはん) (瓦を造るための型)は、出土品としては極めて珍しいものです。



■木製瓦範 大阪市教育委員会蔵

関連行事

■なにわ歴博講座

「金箔瓦と家紋瓦からみた豊臣大坂城」

日時: 令和6年3月10日(日)
午後1時30分~3時(受付:午後1時~)

講師: 岡本 健(大阪歴史博物館 学芸員)

会場: 大阪歴史博物館 4階 講堂

定員: 250名/参加費: 500円

申込方法: インターネットによる事前申込制(先着順)

※詳細はホームページをご覧ください

■展示解説

日時: ①令和6年3月30日(土)、②令和6年4月27日(土)
※いずれも午後2時から30分程度

担当: ①豆谷浩之(大阪歴史博物館 学芸員)
②岡本 健(大阪歴史博物館 学芸員)

会場: 大阪歴史博物館 8階 特集展示室

参加費: 無料(ただし、入場には常設展示観覧券が必要です)

参加方法: 当日直接会場へお越し下さい。

特集展示

再発見! 秀吉の大坂城

—金箔瓦と家紋瓦—

会期: 令和6年3月6日(水)~5月6日(月・祝)
展示担当: 豆谷浩之・岡本 健

会場: 大阪歴史博物館 8階 特集展示室(常設展示場内)

開館時間: 午前9時30分~午後5時
※入館は閉館の30分前まで

休館日: 火曜日休館(ただし、4月30日(火)は開館)

観覧料: 常設展示観覧料でご覧になれます。

大人 600円(540円)

高校生・大学生 400円(360円)

※()内は20名以上の団体料金

※中学生以下、大阪市内在住の65歳以上の方(要証明証提示)、障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)は無料



Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅 ②・③号出口
大阪シティバス「馬場町」バス停前



大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

〒540-0008 大阪市中央区大手前 4-1-32
電話 06-6946-5728 FAX06-6946-2662
https://www.osakamushis.jp/